

令和4年度 第2回沖縄県SDGs推進本部 説明資料

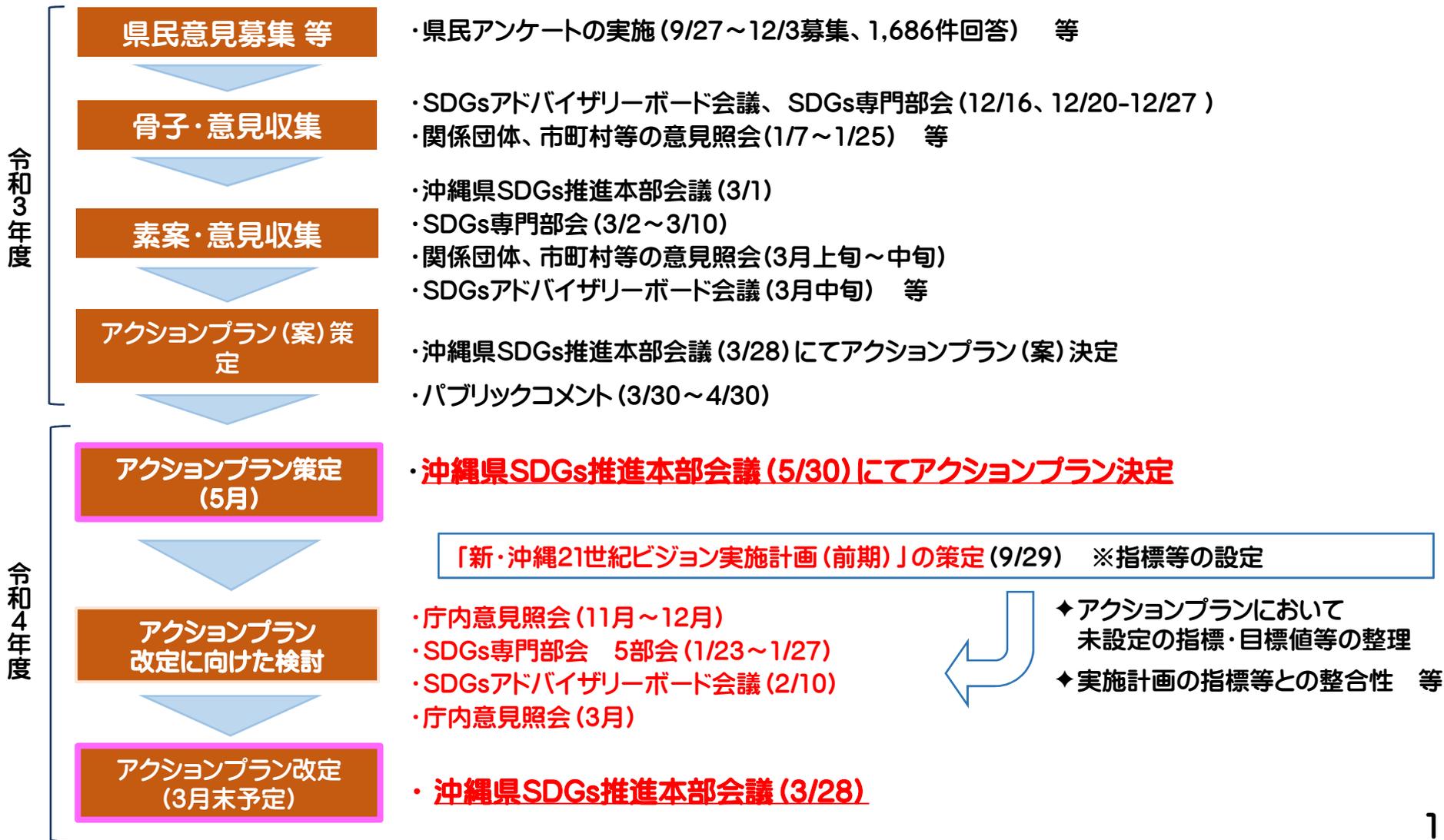
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



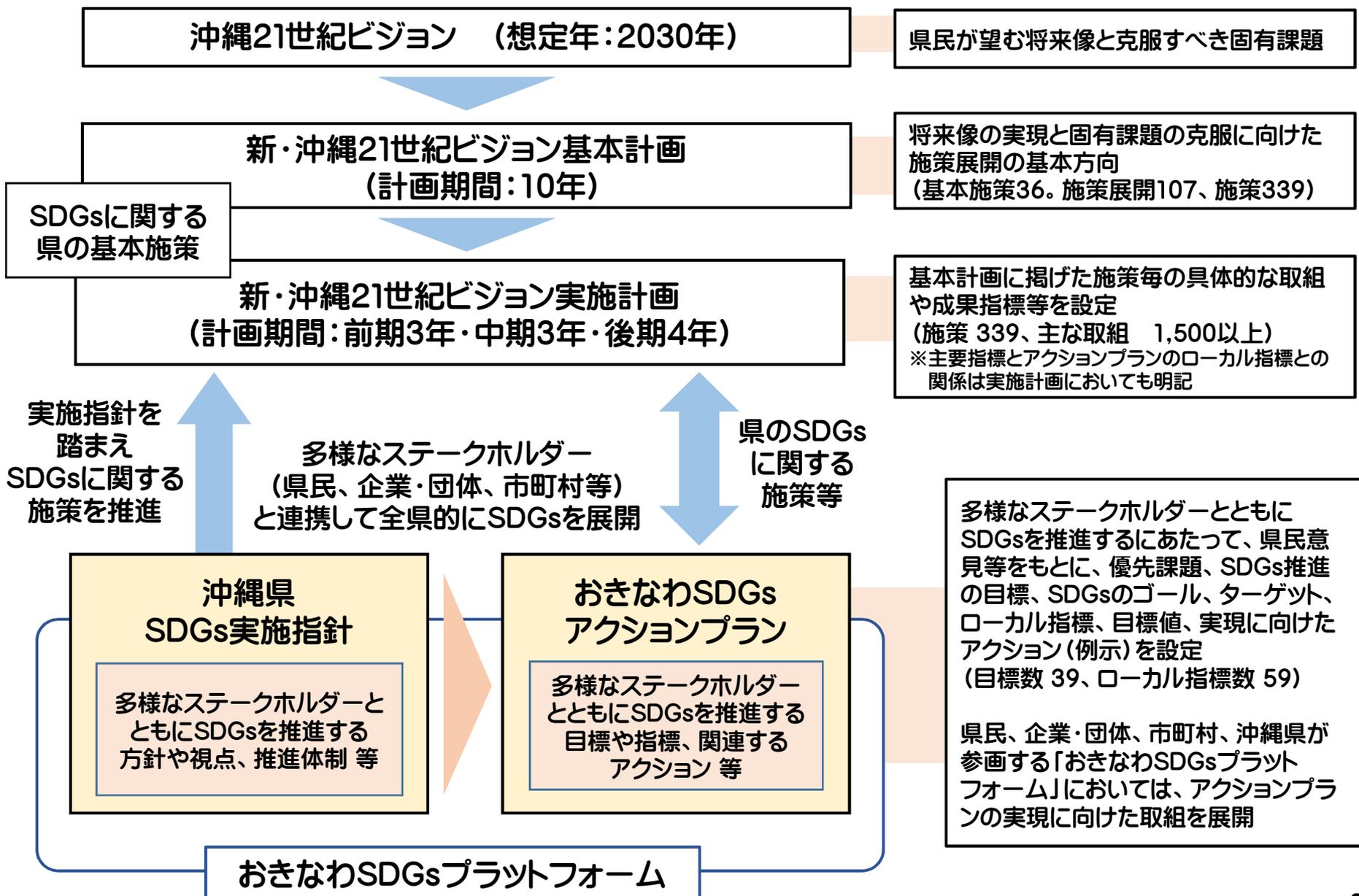
令和5年3月28日

沖縄県企画部企画調整課 SDGs推進室

「おきなわSDGsアクションプラン」は下記プロセスを経てR4年5月に策定。その後、「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画(前期)」がR4年9月に策定されたことから、アクションプランにおいて令和4年度に設定予定の指標・目標値等を再整理した。加えて、「統合的な取組のモデル事例」に「観光」、「イノベーション・人材育成」を追加した。



(参考) 「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画」、「おきなわSDGsアクションプラン」等の関係



令和元年度から開始したSDGsの取組、民間等の多様な主体による取組により、県内におけるSDGsの認知度や取組が広がっている。多様な主体が「おきなわSDGsプラットフォーム」を活用しながら取組や連携を広げていくための支援や積極的にSDGs推進に取り組む県内企業・団体の見える化を促進する。

沖縄県のこれまでの主な取組・経緯

- 2019.4 SDGs推進についての宣言
- 2019.10 沖縄県SDGs推進方針の策定
おきなわSDGsパートナー登録制度創設
- 2021.1 SDGsに関する万国津梁会議 最終報告提出
- 2021.5 SDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業選定
- 2021.6 SDGsアドバイザーボード会議設置
- 2021.9 沖縄県SDGs実施指針策定
- 2022.5 おきなわSDGsアクションプラン策定
- 2022.9 おきなわSDGsプラットフォーム会員登録開始
- 2023.3 おきなわSDGsアクションプラン改定(予定)

沖縄県内の状況変化(例)

- ①SDGsに関する県民の認知度
2020年 33% ⇒ 2021年 70%
- ②SDGsに関する企業認知度
2020年 75% ⇒ 2022年 97%
(出典) おきぎん経済研究所
沖縄県内企業におけるSDGs認知度・動向等調査
- ③おきなわSDGsパートナー登録団体
2022年1月 407団体 ⇒ 2023年2月 833団体
- ④おきなわSDGsプラットフォーム 1,163会員 (3/16時点)

多様な主体による取組の広がり

- SDGsパートナーシップ形成と普及啓発
各種メテア主体の取組、地域に特化した取組 等
- SDGs関連イベント
アーステイオキナワ、ハッピーアースフェスタ 等
- 次世代を含めた交流や育成の取組
SDGsフォトコンテスト、SDGs Quest みらい甲子園 等
- 個別の多様な連携例
(省エネ、子どもの貧困、リサイクル、環境保全、人材育成 等)

今後の取組の方向性について

- おきなわSDGsプラットフォーム機能の充実
(情報発信の充実、交流機会の増 等)
- ★個別テーマの下、実践する民間等で構成する分科会を設置し、具体的な取組・連携を創出する取組を展開予定。
- SDGsアクションプランを踏まえたモニタリング評価開始
(年次報告書の策定・公表を予定)
- SDGsに関する研修機会の拡充
- SDGs全国フォーラム2024 沖縄開催に向けた取組

「おきなわSDGsプラットフォーム」は、県民、県内の企業・団体、教育機関市町村、沖縄県を始め、県外企業も参加できる**情報共有、連携促進に向けた会員制度**。

- ・**会員自らポータルサイトにて、イベント周知、取組の紹介、連携の呼びかけなどの投稿が可能**(メルマガでも配信)
- ・事務局にコーディネーターを設置。連携や事業展開に対する相談対応。
- ・会員向けのセミナー、交流イベント開催 等

おきなわSDGsプラットフォーム ポータルサイト(抜粋)

おきなわSDGsプラットフォーム

SDGsについて 新着情報 プラットフォームについて 会員の取り組み おきなわSDGsパートナー お問い合わせ 相談窓口 ログイン 新規会員登録(無料)

新着情報

2023.03.03 **PROJECT** 【最新紹介】ユア未来へのSDGs実践発表

2023.03.16 **NEWS** 【最新レポート】おきなわSDGsフォーラム

2023.02.16 **PROJECT** 【最新紹介】4地域の子どもたちに、未来をよびかきながら

もっと見る

取り組み一覧

会員投稿が掲載

2023.03.15 第三回アレスアート展示販売会【ART CROSSING】

2023.03.16 【SDGs人生ゲーム】贈呈式も体験会を開催しました

2023.03.08 食糧増進による持続可能な環境・観光の両立を促すシンポジウム

もっと見る

↑ クリックで投稿記事が全て閲覧可能 ↓

検索機能があるので取組のデータベース化も期待

2023.03.13 第三回アレスアート展示販売会【ART CROSSING】

2023.03.16 【SDGs人生ゲーム】贈呈式も体験会を開催しました

2023.03.08 食糧増進による持続可能な環境・観光の両立を促すシンポジウム

2023.03.01 SDGs教育実践発表会ワークショップの開催について

2023.02.24 第1回未来に響くプロジェクトセミナー 開催のご案内

2023.02.24 ソーシャルな環境×リノベーション×イノベーションの連携

2023.01.31 第30回地産地消推進センターシンポジウム開催のご案内

2023.01.25 性別マイノリティの啓発活動

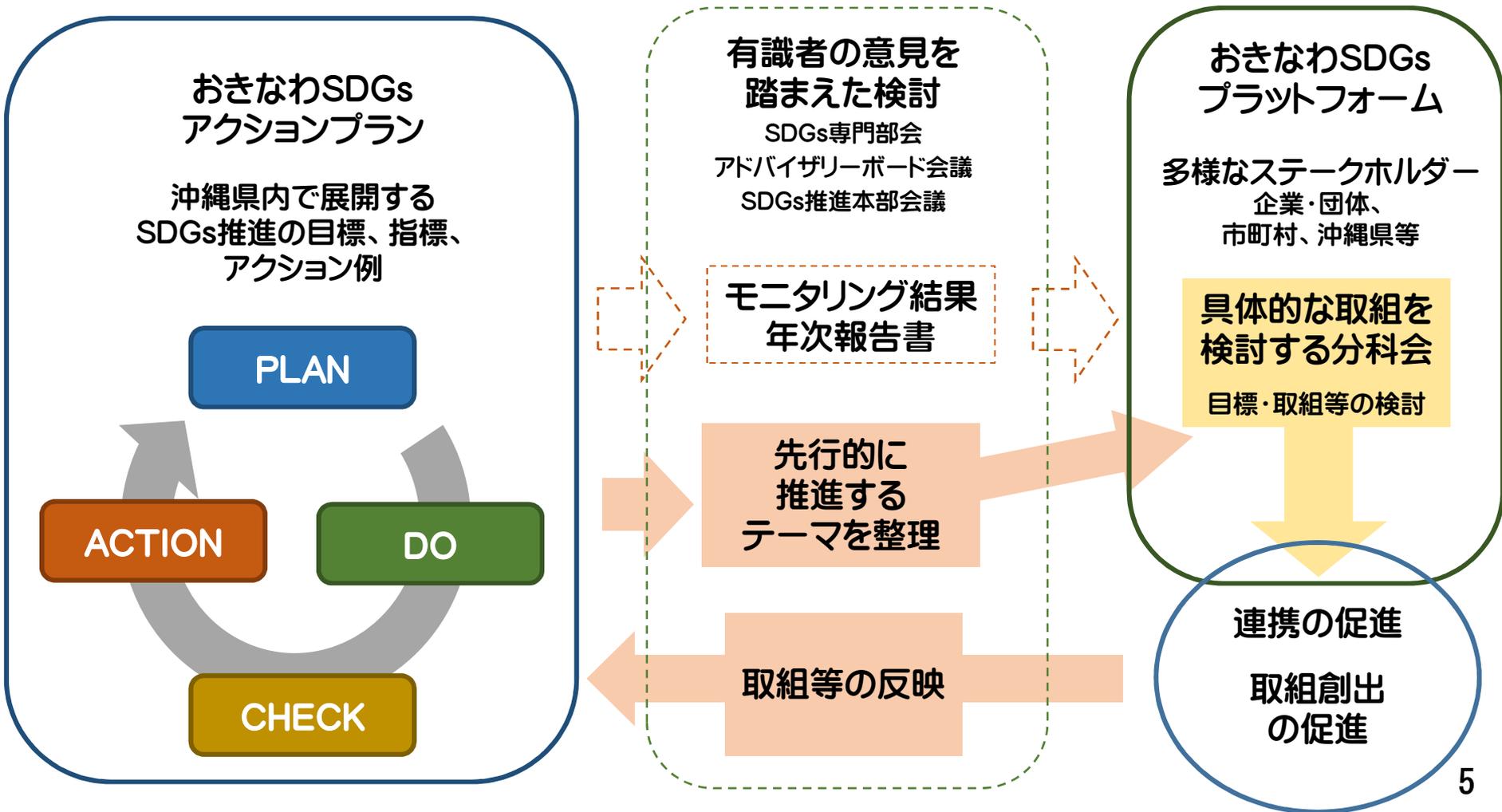
2023.01.23 『沖縄のやちむんとSDGs』

2023.01.20 PINEAPPLE × SDGs ~OCVB「おきなわエシカ&トリベル」特設WEBサイトに掲載

2023.01.13 【ご案内】ユニバーサルツーリズムセミナー 一般の参加性を確保し、沖縄観光にさらなる賑がりを！

2023.01.13 SDGs de 地方創生 コードゲーム 開催予報

「おきなわSDGsアクションプラン」の実現に向け、「おきなわSDGsプラットフォーム」内に具体的なテーマに基づき実際に取組を実践する団体等で構成する分科会(チーム)を設置する予定。テーマ設定については、各部局意見、SDGs専門部会等の有識者意見、プラットフォーム会員のニーズ等を踏まえながら令和5年度前半に設定する予定。



「沖縄県SDGs実施指針」において、**取組状況等のモニタリング（進捗のフォローアップ）を実施**する重要性が位置づけられている。**「おきなわSDGsアクションプラン」の達成状況を含め、県内のSDGsの取組状況を把握し、広く県民に共有する取組を令和5年度から開始する予定。**年次報告書を作成する中でモニタリングの結果を取りまとめていく予定。

モニタリング・発信の進め方（案）

- 1 「沖縄県SDGs実施指針」において、モニタリングは、「SDGs専門部会」、「SDGsアドバイザーボード」の意見収集を行い、「沖縄県SDGs推進本部」において結果を報告することとされている。
- 2 モニタリングにおいては、**毎年度、年次報告書の素案をまとめ、「SDGs専門部会」、「SDGsアドバイザーボード会議」の意見を踏まえながら整理し、最終的に「沖縄県SDGs推進本部」に報告する形で進める予定。**
- 3 年次報告書は、HPで公表するとともに、「おきなわSDGsプラットフォーム」の登録会員に共有する。
（令和5年度から作成、公表を開始予定）
- 4 **取りまとめ作業にあたっては、関係部局からの情報提供等、ご協力をお願いしたい。**

年次報告書のイメージ

SDGs専門部会において議論している。
年次報告書の作成は評価が高いが、具体的な構成・内容について多くの意見があり精査中

- ＜年次報告書＞
「沖縄の持続可能な開発目標レポート
20XX（仮称）」
- 1 沖縄の概況（現状と課題）、世界・日本の状況を5P毎にまとめる。
 - 2 SDGsの取組事例
（1）**沖縄県の取組事例**
（2）企業・団体等の取組事例
 - 3 アクションプランの進捗状況
（指標に基づく進捗状況）

SDGs専門部会(5つの専門部会)を2023年1月23日~1月27日に開催し、おきなわSDGsアクションプランの改定、モニタリング・発信の方法、分科会設置について、意見を収集したので結果の概要を報告する。

1 SDGs専門部会の開催状況

- ◆ 平和 (peace) 部会 1/23 (月) 15:00 - 16:30
- ◆ 人間 (people) 部会 1/25 (水) 10:30 - 12:00
- ◆ 地球 (planet) 部会 1/25 (水) 14:00 - 15:30
- ◆ 繁栄 (prosperity) 部会 1/27 (金) 10:30 - 12:00
- ◆ パートナーシップ部会 1/27 (金) 14:00 - 15:30

2 SDGs専門部会の議題

- (1) 「おきなわSDGsアクションプラン」の改定(指標等)について
- (2) SDGs推進に係るモニタリング・発信について
- (3) 「おきなわSDGsプラットフォーム」分科会のテーマ設定について

3 SDGs専門部会における主な意見

(1) おきなわSDGsアクションプランの改定

<指標関連>

- ◆ 各指標の目標年を揃えることができないか。
- ◆ 指標以外の県経済成長率、県民総生産、雇用数、正規雇用率等、モニタリングも必要ではないか。
- ◆ アンケート調査に関する指標は、調査方法により結果の偏りがでるので丁寧な設計が必要ではないか。
- ◆ 取り組んでいる自治体の割合の指標の立て方については、取組のレベルを示した方がよいのではないか。他の指標(犯罪被害者等)でも設定ができないか。
- ◆ 災害対応については、復興の対応(災害廃棄物対応)等に関する整理も必要ではないか。 等

<統合的モデル事例関連>

- ◆ イノベーション・人材育成については、内発的発展の方向、リスクリングの視点を入れる方がよいのではないか。
- ◆ 持続可能な観光については、水等の資源のキャパシティ、地産地消等の視点を入れた方がよいのではないか。
- ◆ 地域振興にあたっては、住居環境の視点を入れた方がよい。 等

(2) SDGs推進に係るモニタリング・発信について

- ◆ 沖縄の状況を厚くするとともに、沖縄の状況・課題から国内の状況、世界の状況と展開する方向が良い。
- ◆ 報道頻度の高い事案を取り上げる工夫をしてはどうか。
- ◆ 国際情勢のトピックス選択についての追加意見(障がい者等)。
- ◆ 取組事例の掲載は評価するが、皆の参考になる優良事例を抽出する工夫が必要ではないか。
- ◆ 沖縄の状況、アクションプランの進捗状況と優良事例などがつながるような整理が必要ではないか。
- ◆ 県民が一目で理解できるようなデザインや読みやすくする工夫(ふりがなを含め)をしたほうが良い。
- ◆ 学生向けの講座等での活用も見込まれる 等

(3) 分科会のテーマ設定について

- ◆ モデル事例の構造的な整理を活用するのは有効ではないか。
- ◆ 企業・団体間の実践のすりあわせには時間がかかるので余裕のある取組期間の設定が必要ではないか。

※個別分野の意見・提案が有り、後日、提案いただく予定。 等

SDGsアドバイザーボード会議を2023年2月10日に開催し、SDGs推進に必要な視点や取組、おきなわSDGsプラットフォームの分科会設置、おきなわSDGsアクションプランの改定やモニタリング(年次報告書)の策定を含めたSDGs専門部会における議論の結果等について、意見を収集したので結果の概要を報告する。

1 SDGsアドバイザーボード会議における主な意見

(1) SDGs推進に必要な視点や取組について

<SDGsの動向>

- ◆ 今年度は国連のSDGsサミットが開催予定。その年に国の実施指針の改定を行うが、経済の中に社会・環境の持続性を入れた成長戦略、基本法の制定、国のターゲットの設定などを提言としてまとめる予定。

<SDGs推進に向けて>

- ◆ SDGsに対する疲れやくじけの話があるが、SDGsはコンパスであり、社会を俯瞰的に捉え、行動を重ねていくことが大事である。
- ◆ 人間の安全保障の観点が重要、人権といった国際的な基準などの原点に立ち返ることが必要である。
- ◆ 今後、幸福度、ウェルビーイングの視点が重要となってきた。
- ◆ 県内の大規模イベントについて、県庁全体でも共有してイベントにおける環境対策を積極的に取り入れてはどうか。

<SDGs活動やビジネスの促進>

- ◆ 途上国向けの適応領域のビジネスが注目、島しょ地域の沖縄に強みがあると認識。強みのある技術や取組をPRしていくことが重要。
- ◆ NPOや中小企業のインセンティブ設定や市町村連携が必要。

<ESG・教育関連>

- ◆ ESGに積極的に取り組んでいる地域の調査では、身近な問題の方が理解しやすく、行動に結びつけやすいという結果が出ている。また、地域との連携が強い学校ほど子ども達の理解が深まる傾向がある。
- ◆ ESGは、先が見えない時代の中で汎用的な能力、新しい課題を見つけて取り組む能力を育むもの。地域社会と結びつきが大事である。
- ◆ 経済学の観点からするとポジティブな精神状態を持った人は相手を助け、助けを受け入れられる。ゲーム等も活用しながら若者が楽しむ中で交流し、アクションにつなげていくことも大事である。

<若者の参画>

- ◆ 若者の声を聞いているとのSDGsウォッシング(形ばかりの取組・PR)、単に若者を利用している例が問題視されてきている。意思決定への参画、対等のパートナーとして協働体制が重要である。
- ◆ 若者側は、自身の強みが解らず、リソース不足、学校の関係で平日の協働が難しい等の課題、参画の形を作るためのコーディネートが必要。
- ◆ SNSのリスク等を含めリテラシーが高いため、SNSだけでも進まない。若者が参画しやすい新しいスタイルを考えていく必要がある。
- ◆ 大学生が地域の学習支援を行ったりとSDGsに貢献する取組もあるので、象徴的に見せること、単位などの仕組みを検討してはどうか。
- ◆ 学生主体で大学の未来を考えるプログラムを実施。自分事になりやすいので関心が高かった。大学、学校でもこのような取組を行うと面白い。
- ◆ 若者が主体になって沖縄の理想像を議論し、発信していくような取り組みはメッセージ性が高い。等

(2) SDGsプラットフォームにおける分科会について

- ◆ 若者主体の分科会、多様性を含めたジェンダー平等を考える分科会、共同広報を行うローカルメテアの部会があると良い。
- ◆ 自分で手を上げて発言できない人が参加できる分科会があっても良い。その際はファシリテーションが重要である。
- ◆ 分科会設置のスケジュールはスピードを重視してほしい。
- ◆ メリハリをつけて、ポイントを絞って取り組むことも大事であり、SDGsだからこそ解りやすい表現していくことが必要。等

(3) モニタリング・年次報告書等について

- ◆ 他地域で見られない先進的な取組で高く評価。年次報告書の作成にあたって行政だけでなく有識者にも協力してもらおう方が良い。
- ◆ 県民に進捗状況がわかりやすいよう表現の工夫が必要。
- ◆ レポートの有効活用も検討したほうが良い。等

沖縄県SDGsアドバイザーボード 委員一覧 (五十音順)

蟹江 憲史	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授
北村 友人	東京大学大学院 教育学研究科 教授
佐野 景子	独立行政法人 国際協力機構 監事
島袋 純	琉球大学 教育学部 教授
玉城 直美	特定非営利活動法人沖縄NGOセンター 代表理事
平本 督太郎	金沢工業大学 情報フロンティア学部 経営情報学科 准教授 キャリア開発支援機構 SDGs推進センター 所長
淵辺 美紀	沖縄経済同友会 代表幹事 (株)ジェイシーシー代表取締役会長
和田 恵	SDGs - SWY共同代表 株式会社 大和総研 研究員

<開催状況>

SDGsアドバイザーボード会議
(R3 3回、R4 1回)

SDGs専門部会

people (人間) 専門部会	(R3 2回、R4 1回)
prosperity (繁栄) 部会	(R3 2回、R4 1回)
planet (地球) 専門部会	(R3 2回、R4 1回)
peace (平和) 専門部会	(R3 2回、R4 1回)
partnership (パートナーシップ) 専門部会	(R3 2回、R4 1回)

SDGs専門部会 委員一覧 (部会ごと 五十音順)

【people (人間) 専門部会】

大城 千尋	沖縄県社会福祉協議会総務企画部 副部長
大城 りえ	沖縄キリスト教短期大学保育科 教授
島袋 恒男	琉球大学 名誉教授
島村 聡	沖縄大学人文学部福祉文化学科 教授 地域研究所所長
野入 直美	琉球大学人文社会学部 准教授
涌波 淳子	沖縄県医師会 理事

【prosperity (繁栄) 部会】

伊禮 和枝	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 総務部長
神谷 大介	琉球大学工学部工学科社会基盤デザインコース 准教授
高良 絹子	沖縄県農業協同組合中央会 総務部次長
棚原 初美	日本労働組合総連合会沖縄県連合会 副事務局長
棚野 浩	沖縄経済同友会 常任幹事 SDGs委員会委員長 沖縄ツアーリスト株式会社 執行役員 SDGs推進部長
羽賀 史浩	琉球大学研究推進機構 研究企画室SDGs推進室 上席URA

【planet (地球) 専門部会】

赤嶺 太介	一般社団法人 沖縄県産業資源循環協会 会長
宇賀神 知則	環境省沖縄奄美自然環境事務所 所長
大島 順子	琉球大学国際地域創造学部 准教授
大城 加代子	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 調査研究室広報活動班長
齋藤 星耕	沖縄国際大学経済学部地域環境政策学科 准教授

【peace (平和) 専門部会】

新垣 誠	沖縄キリスト教学院大学大学院 異文化コミュニケーション学研究科 教授
石垣 皓次	沖縄県ユネスコ協会 理事長
岩村 俊平	一般財団法人沖縄県環境科学センター業務部長兼SDGs事業実行班長
喜納 育江	琉球大学国際地域創造学部 教授 ジェンダー協働推進室長
玉那覇 清美	特定非営利活動法人うらおそい歴史ガイド友の会 事務局長
村上 尚子	こころ法律事務所 弁護士

【partnership (パートナーシップ) 専門部会】

倉科 和子	独立行政法人国際協力機構 (JICA) 沖縄センター 所長
首里のすけ	オリジン・コーポレーション代表
新膳 朋子	特定非営利活動法人沖縄NGOセンター
長濱 京子	浦添市立中央公民館 館長
平田 大一	沖縄文化芸術振興アドバイザー
平良 喜彦	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄事務局長 (琉球大学総合企画戦略部 部長)

※恩納村、石垣市 オブザーバー参加 (県内SDGs未来都市)